

事業所名

ひろば

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念		①施設づくりは「箱ものづくり」ではなく、施設づくりは「地域づくり」である。②松の実会の利用者を、制度や法律に合わせるのではなく、逆に、松の実会の利用者に制度や法律を合わせていく支援と運営を。③保護者や家族のための支援ではなく、職員主体の独りよがりの支援ではなく、利用者本位の、利用者主体の支援と運営を。								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて、子どもの自立と成長を促進すると共に、心身共に安心・安全な状態で、楽しく過ごせる場としての役割を果たす。 個々の力を発揮し、その機能の成長と自信を育む事を大切にする。また、他者との関りにより、刺激を受け合いながら、相互に成長していける環境を大切とする。 								
営業時間		10時	0分	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※1日利用時は自力来所。帰りは送迎有朝の送迎が必要な方は要相談（松戸市内）
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	自立した日常生活への支援 食事支援、排泄支援、体調管理 ・利用者の成長や身体機能を活かした、自食や排泄支援。 また、お手伝いなどの役割を担ってもらい、生活にやりがいと自信を得られる機会をつくる。 ・日々の健康観察。・医療的ケア児への対応（吸引・吸入・注入・導尿）、発作や体調変化への対応（医師の指示書に基づく）								
	運動・感覚	余暇活動・運動活動の提供 ・手の力や立位・歩行を取り入れるなど、個々の身体機能を活かした参加方法を大切に活動企画・支援を実施。 ・理学療法士と連携し、専門的支援計画書を作成。利用者個々に応じて、生活・活動内にリハビリ要素を取り入れた支援を実施。								
	認知・行動	・生活の流れを伝え、見通しを持つ事で安心して過ごせるように支援を提供 ・季節感のある活動や環境設定を行い、1年間を通して季節の変化を感じてもらおう事で、豊かな心身の成長につなげる。 ・時間の把握、物事への理解、自発的な行動が引き出されるような環境設定。								
	言語 コミュニケーション	意思決定支援、意思伝達についての支援 ・利用者個々の意思伝達方法（目線・声・言葉・仕草、手話など）を大切に、その想いを尊重できるような支援を大切にする。 ・選択する機会を増やし、本人の願いや意思を伝える力を引き出す支援。また、コミュニケーションを深める事で、安心して意思を伝えられるような関りを大切にする。								
	人間関係 社会性	他者との関り・地域との共生 ・子ども同士の関わり合いから、相互成長に繋がるような、遊びや環境設定 ・社会交流の機会の提供（法人内の他部署利用者・職員との交流、散歩（近隣の公園）・買い物などへの近隣施設を利用・ボランティアとの交流など）								
家族支援		・保護者の仕事や兄弟の用事など、家庭の状況に応じた支援を大切にする ・成長、健康面の相談・子育てでの困りごと（必要な支援や制度）について、情報を市、行政に向けて発信をしていく			移行支援		・地域にある他施設や地域住民と交流できる活動機会を計画・実施 ・卒業後に向けての課題への取り組みや、進路先との情報交換を実施			
地域支援・地域連携		・学校、他事業所、相談支援員といった各関係施設との連携 ・市内関係機関への会議参加（松戸市重症児通所支援連絡会、こども部会（松戸市ありかた検討会）、松戸市医療的ケア児の為に連携推進会議			職員の質の向上		・法人内での委員会を設置 ・研修の企画実施 ・外部での研修については主にオンラインでの参加を実施。			
主な行事等		・お花見散歩、ポッチャ、ポーリング、手型足型での壁面製作活動、プール、ハロウィンイベント、クリスマス、年賀状制作（家族・ボランティア）、初詣、近隣施設への買い物体験 ・毎月の壁面製作、その他季節に応じた行事や製作活動など								